まごころ【 あいさつの心　そうじの心　花の心　かがみの心 】

熊本市立田迎南小学校　校長室だより
第19号　令和８年２月５日

並建雅楽会 鑑賞会　６年生（1/28）

６年生の音楽では、伝統的な日本の音楽として「雅楽」が取り上げられています。主に代表的な管絃の曲である「越天楽（えてんらく）」を鑑賞し、その旋律に歌詞をつけた「越天楽今様（えてんらくいまよう）」を歌う学習を通じて、雅楽の特有な響きや歴史を感じる内容となっています。

田迎南小では毎年、並建雅楽会のみなさまにお越しいただき、管楽器（笙・篳篥・龍笛）と打楽器による、ゆったりとした独特のアンサンブルを鑑賞しています。

南っ子のくらしを考える検討会　6年生(2/2 学校評議員会で)

校則見直しについては高学年を中心に全校児童で検討しています（昨年は５年生、今年は６年生）。今年はアスファルト上の遊び方について検討しました。各クラスの意見を代表委員会で出し合いながら、各委員会では具体的な取組を考えました。

学校評議員様にも紹介しご意見を頂きました。

世界の子供たちから学ぶ　6年生（1/30）

６年生は年間を通して「平和」や「命」をテーマに学習を進めています。この１年間に学校外の多くの方々から講話をしていただきました。

今回は、世界中を回ってストリートチルドレンを取材している、NPO 法人 MASA FREE SCHOOL 理事長の寺本真将(てらもと まさし)さんに講話をお願いしました。

過酷な状況の下で、生きるために必死で働く子供たちの姿を知るにつれ、胸が締め付けられ目頭が熱くなる思いになりました。

この講話を聞いて「自分が感じたこと」を次のようにまとめている子供がいたので紹介します。

①自分たちの当たり前は、世界の当たり前ではないこと（みんなに家族がいて、みんなが学校に行けて、みんながご飯を食べられて、みんなが温かいお風呂に入れて、ベッドで寝る生活は当たり前ではないということ）
②可哀そうでは終わらないこと（親もいないし家もないから可哀そうじゃなくて、そこから自分たちに何ができるか考える）
③夢や目標があるならたくさん挑戦すること（挑戦したくてもできない人がいるから、自分の限界までとことん挑戦する）